

## 奇兵隊

【きへいたい】

奇兵隊は、文久3年（西暦1863年）に萩藩士高杉晋作により結成された幕末諸隊のひとつ。  
奇兵隊の名称の由来は、長州藩の正規軍に対して奇軍という意味。

江戸時代の『土農工商』という身分制度にとらわず、萩藩下級武士や農民・町人などで結成された近代軍隊組織の創世的存在と言われたいる。

長州に奇兵隊ありと世に知れ渡ったのは、幕府との四境戦争の一つ小倉口の戦い（現在、北九州市小倉の赤坂海岸より小倉城にかけて）から。

その後も鳥羽・伏見の戦いより戊辰戦争にかけても主力として参戦し、函館五稜郭の戦いまで活躍しました。

- 幕末辞典 -